



上村 修 (南鹿野)

昨年度の九州農業白書によりますと、農業者の平均年齢が65・6歳、40歳以下は12%であります。氷川町も例外ではありません。

現在、中山間地区においては、遊休農地、耕作放棄地がここ数年の間に倍の1000ヘクタールと増加しました。農業者の高齢化、担い手不足が一因であり、少しでも解消する取り組みが必要となります。平坦地区においては、優良農地を守るため農地集積を進めながら、個人経営から集落営農、生産法人組合に移行していくと思われ、それに携わる農業委員も重大な役割を持ち、心新たに努力したいと思えます。



木下 厚 (西野津)

県農業共済組合より、推薦で農業委員に任命されました。農地の賃借のお手伝い、耕作放棄地の解消、生産物の台風など自然災害の備えとしての共済の活用など、共済組合の総代として、農家の声を農業委員の活動源とします。氷川町も他の町村と同じで後継者が少ないと思っております。優良な農地を守り、後継者を育てることは、未来の氷川町の発展に寄与すると思っております。任期「ハイ」頑張ります。



宮本真知男 (下宮・西上宮・新村・宮園)

今度新しく農業委員をする

ことになりました。農業を取り巻く状況は非常に厳しいものがあります。農業委員会活動を通じて、他の委員さんと力を合わせ地域農業の振興に努め、地区の皆さまのお役に立つ気持ちで頑張りたいと思っております。よろしくお願ひします。



益田 勝徳 (有佐・原田)

このたび、原田・有佐地区から推薦を受け農業委員になりました。今の農業は大変厳しく、後継者不足、高齢化、耕作放棄地など、いろいろな問題があると思えます。農業委員としての役割のなかで、少しでも皆さまの役に立てますよう3年間勉強しながら頑張っていきたいと思っております。よろしくお願ひします。



井副 陽子 (新田・堺丸)

今回、議会からの推薦を受け、農業委員になりました。今、農業を取り巻く状況は大変厳しいのが現状ではないかと思えます。農業者の高齢化、後継者不足により遊休地が増えているようです。農地の有効活用により氷川町の農業が少しでも活気づきますよう、諸先輩方と共に頑張りたいと思っております。よろしくお願ひします。



本田智恵子 (立神・東上宮・桜ヶ丘)

私の大好きな氷川町で、若い人が一人でも多く農業に夢や生きがいを持って取り組めるように、また、私たちの食がよ

り自給でき、緑のあるいい環境を未来へ伝えられるよう、委員の皆さんと協力し、3年間務めたいと思っております。よろしくお願ひします。

遊休農地などの草払いのお願い

遊休農地などとして耕作されずにいる農地や、荒れたまま放置されている土地に雑草・雑草などが繁茂すると、火災・犯罪・病害虫などの発生原因となる恐れがあり、周囲に大変迷惑となります。もし、あなたが所有(管理)されている土地に雑草などが繁茂している場合は、早急に草刈・除草などを行い、周囲の農作業などに迷惑のかけられない状態に保ちましょう。

勤め・病気などで草刈ができない人は、シルバー人材センターへの雑草処理見直しも行ってまいりますので、ぜひご相談ください。

また、町および農業委員会では、農業経営基盤強化促進法に基づき遊休農地などの賃貸借および売買も促進しております。農地として再生される場合は耕作放棄地再生事業をご活用いただけますので、まずはご相談ください。

問 農業委員会事務局
☎52・5861(直通)

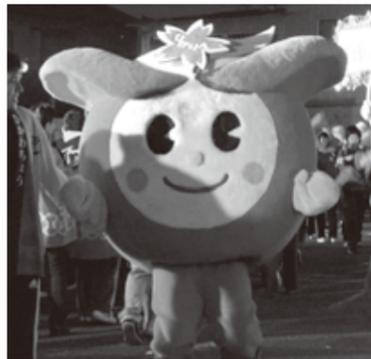
熱気あふれる舞で5000人が一こ

第10回納涼祭流し踊り大会

7月29日、宮原中心市街地において、第10回納涼祭流し踊り大会が行われ、12団体・約5000人が参加しました。

ひのきみ太鼓による力強い演奏で幕を開けると、四宮観光物産協会長が「皆さんの踊りで盛り上げて、氷川町が一つになるような祭りになってください」とあいさつ。軽快なサンバのリズムに合わせて、一斉に踊りがスタートしました。

参加者たちは、趣向を凝らした衣装やパフォーマンスで祭りを盛り上げ、暑さに負けない元気いっぱい夏の夜を彩りました。



大会結果

- 【総合優勝】氷川町自衛隊父兄会
- 【団体の部優勝】氷川町商工会
- 【子どもの部優勝】宮小・桜っ子
- 【ハッスル賞】特別養護老人ホーム 早尾園
- 【アイデア賞】氷川町社会福祉協議会
- 【特別賞】氷川中学校